



“大村市長選挙における公開討論会” 本校生徒7名が参加し、2名が質問を行いました。

こんにちは、生徒会です。今回の生徒会だよりは、今月行われた“大村市長選挙における公開討論会”に参加した本校生徒を取り上げてみました。本校からは7名の生徒が参加し、2名の生徒が大村市長選挙に立候補を表明している候補者に対して、自分の考えや意見を投げかけました。大村では10月29日（日）に大村市長選挙（投開票）が行われます。23日（月）には本校で期日前投票が行われました。3年生の半数は既に18歳の誕生日を迎えており、皆さんの代表を選挙で選ぶことができる選挙権を持っています。大村市内在住の生徒はこの市長選が最初の選挙になります。ぜひ投票所に足を運び、貴重な一票を投じてほしいと思います。さて今回実施された公開討論会の概要は下記の通りです。

○日 時：令和5年10月12日（木） 18：00～20：00

○会 場：シーハットおおむら さくらホール

○参加者数：高校生や社会人の若い世代などを中心に約300名

本校からも生徒会長の渡邊さんをはじめ、7名の生徒が参加しました。

○市長選立候補予定者（3名）：

前県議会議員 北村 貴寿氏、県考古学会会長 稲富 裕和氏、現大村市長 園田 裕史氏

○討論会の内容：・まちづくりのビジョンに係る立候補予定者による討論

・参加者からの意見・質問陳述、及び立候補予定者からの回答 など

○本校からの意見陳述者：渡邊 乃愛さん（2年2組）、松本 晃樹くん（2年2組）

○立候補予定者への質問内容とその回答（○×での回答）：

渡邊さん「新大村駅周辺の開発は若者目線で行いますか？」

松本くん「大村特産品（農産物）を作って、海外へ売り出すという考えはありますか？」

立候補予定者からの回答・・・いずれの質問に対して3名とも“○”と回答されました。

渡邊さんのコメント

討論会に参加してみて若者の投票率が低いのは、大村の政治をよく知らないからなのかなと感じました。今回の討論会では大村市の財政や福祉制度など大村市の現状をよく知ることができたので、選挙権の有無に関わらず大村の政治に関心を持つことは大切だと思いました。今回のような若者が政治を知る機会を広げていけば、老若男女問わずみんなが住みやすい大村市になると強く感じました。

松本くんのコメント

今回の討論会では候補者の方々の公約につながる質問をしました。「大村の農産物の特産品を海外に売り込む考えはお持ちでしょうか」という質問に、候補者全員から○（取り入れたい）をいただきました。候補者の方々が公約にとどまらず、そこから先も考えているということを知ることができました。今回の討論会は選挙権を持っていない立場ながら、自分なりに大村を任せられる人を見極めるいい機会となりました。